

令和3年(2021)12月期(第59期)第1四半期 決算ダイジェスト

連結売上高 582 億 46 百万円 (前年同期比+1.3%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 27 億 12 百万円 (前年同期比+16.9%)

令和3年(2021)12月期 - 第59期 - 第1四半期 連結経営成績 ※令和3年3月15日に上方修正を行いました。

	令和2年(2020)12月期第1四半期		令和3年(2021)12月期 第1四半期							
	実績	率	実績	率	前年増減額	前年同期比	予算	率	予算差額	予算比
売上高	574億93百万円	-	582億46百万円	-	+7億52百万円	+1.3%	581億21百万円	-	+1億25百万円	+0.2%
売上総利益	125億56百万円	21.8%	125億43百万円	21.5%	△12百万円	△0.1%	125億16百万円	21.5%	+27百万円	+0.2%
販売費及び一般管理費	92億18百万円	16.0%	87億52百万円	15.0%	△4億65百万円	△5.1%	88億11百万円	15.2%	△58百万円	△0.7%
(うち減価償却費)	14億25百万円	2.5%	17億04百万円	2.9%	+2億79百万円	+19.6%	16億85百万円	2.9%	+19百万円	+1.2%
営業利益	33億37百万円	5.8%	37億90百万円	6.5%	+4億53百万円	+13.6%	37億05百万円	6.4%	+85百万円	+2.3%
経常利益	33億84百万円	5.9%	39億95百万円	6.9%	+6億10百万円	+18.0%	39億43百万円	6.8%	+52百万円	+1.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	23億21百万円	4.0%	27億12百万円	4.7%	+3億91百万円	+16.9%	27億25百万円	4.7%	△12百万円	△0.4%
1株当たり四半期純利益	35円20銭	-	41円14銭	-	+5円94銭	-	41円32銭	-	△18銭	-
PB売上高	114億72百万円	20.0%	112億89百万円	19.4%	△1億82百万円	△1.6%	112億99百万円	19.4%	△9百万円	△0.1%
設備投資額	40億75百万円	-	6億78百万円	-	△33億96百万円	-	-	-	-	-

セグメント別実績

	令和2年(2020)12月期 第1四半期		令和3年(2021)12月期 第1四半期				
	売上高	売上総利益	売上高			売上総利益	
			金額	前年同期比	予算比	率	前年同期比
ファクトリールート	433 億 50 百万円	21.3%	422 億 43 百万円	△2.6%	△0.5%	21.0%	△0.3pt
e ビジネスルート	101 億 16 百万円	25.2%	112 億 70 百万円	+11.4%	+2.2%	24.2%	△1.0pt
ホームセンタールート	36 億 82 百万円	17.9%	43 億 30 百万円	+17.6%	+2.9%	17.8%	△0.1pt
海外ルート	3 億 44 百万円	34.4%	4 億 02 百万円	+16.9%	△3.4%	37.9%	+3.5pt
全社合計	574 億 93 百万円	21.8%	582 億 46 百万円	+1.3%	+0.2%	21.5%	△0.3pt

売上高【連結】 582 億 46 百万円 / 前年同期比+1.3%

工場稼働の戻りにより、売上高は緩やかに回復傾向となりました。

① **ファクトリールート 422 億 43 百万円(前年同期比△2.6%/△11.0 億円)【予算比△0.5%/△2.2 億円】**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で停止していた工場の稼働は戻りつつありますが、マスクなどの保護具が高水準ながら特需時より減少しました。

② **e ビジネスルート 112 億 70 百万円(前年同期比+11.4%/+11.5 億円)【予算比+2.2%/+2.3 億円】**

- 通販企業向け 86 億 46 百万円(前年同期比+12.0%/+9.2 億円)
- MROサプライ※ 26 億 24 百万円(前年同期比+9.4%/+2.2 億円)

※大手ユーザー企業の購買担当者様を中心に利用されている電子購買向けの販売。

工場稼働の戻り、取扱商品の拡大や新型コロナウイルス感染症拡大の巣ごもり需要により、依然として売上高は拡大傾向にあります。

③ **ホームセンタールート 43 億 30 百万円(前年同期比+17.6%/+6.4 億円)【予算比+2.9%/+1.2 億円】**

プロショップへの売上高 7.4 億円(前年同期比+30.4%/+1.7 億円)

プロショップへの売上高拡大は継続しております。ホームセンターの新店出店や、当社の在庫力を評価いただき、当社から調達いただける商品アイテム数が増加したため、売上高が増加しました。

売上総利益【連結】 **売上総利益率 21.5%** / **前年同期比△0.3pt** ()前年同期比

- ① 粗利率の高い、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る商品群の特需の一服により、売上総利益率が低下しました。
- ② NB 商品粗利率: 17.8%(△0.3pt)、PB 商品粗利率 36.4%(+0.1pt)。

【参考】PB 商品売上高構成比: 19.4%、PB 商品売上高: 112 億 89 百万円(△1.6%)

販売費及び一般管理費【連結】

87 億 52 百万円 / **前年同期比△5.1%(△4.6 億円、主な要因は以下)** ()前年同期(月)比

(1) 支払手数料 4 億 92 百万円(△42.2%/△3.5 億円)

- ① 基幹システムパラダイスリニューアル初期対応費用(△289 百万円)

(2) 広告宣伝費 1 億 56 百万円(△48.4%/△1.4 億円)

- ① 株主優待関連費用(△76 百万円)
② 60 周年記念誌発刊費用(△24 百万円)

(3) 給与及び賞与 23 億 15 百万円(△3.6%/△0.8 億円)

- ① 社員 1,656 名(△18 名) パートタイマー1,130 名(+30 名)
② 社員残業代(△101 百万円)

(4) 減価償却費 17 億 04 百万円(+19.6%/+2.7 億円)

- ① プラネット南関東の建替棟・マテハン機器など(+187 百万円)
② プラネット東北の増築棟・マテハン機器など(+166 百万円)

(5) 運賃荷造費 16 億 72 百万円(+6.2%/+0.9 億円)

- ① 需要増で路線便の出荷個数が増加(+71 百万円)
うち、ユーザー直送の増加(+29 百万円)、出荷個数 62 万個(+7 万個)
② 備車費用減少(△26 百万円) (参考)備車台数 161 台(前期末比 +1 台)

在庫に関する重要指標 ()前期末比

- ① 在庫アイテム数: 46 万 4,834 アイテム (+8,893 アイテム)
② 在庫ヒット率※: 90.9% (△0.1pt) ※全受注のうち在庫から出荷した割合

令和 3 年(2021)12 月期 -第 59 期- 業績予想 (3/15 業績予想修正)

	前回発表予想 (令和3年2月12日発表)	今回修正予想 (令和3年3月15日発表)	前回予想比	前年比
売上高	2,205億20百万円	2,275億20百万円	+3.2%	+6.6%
営業利益	124億70百万円	131億70百万円	+5.6%	+19.5%
経常利益	128億80百万円	138億20百万円	+7.3%	+19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88億70百万円	95億20百万円	+7.3%	+18.9%
1株当たり当期純利益	134 円51 銭	144 円37 銭	+9円86銭	+22円94銭

当社は 2 月 12 日(金)決算発表時に第 59 期予算を開示しておりましたが、予算策定当初と比較して企業の設備投資が徐々に復調し、景気全体が回復に向かっていると判断し、第 59 期予算の上方修正を行いました。

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 兼 経営企画・広報IR課 課長 下津 敦嗣

【本件問い合わせ先】経営企画・広報 IR 課 平野 みのり/高橋 実花

TEL: 03-3433-9840/MAIL: info@trusco.co.jp